

台風への備え

身の危険を感じたらすぐ避難



馬場地区の海沿い地帯



神川地内一部山林

9月19日から20日にかけて本町に接近した台風16号は、非常に強い雨や風で多くの被害が出ました。

農産物の被害や道路上のがれき撤去、山林でのがけ崩れや風倒木などの被害がありました。その他にも建物の瓦が飛んだり窓が割れたりなどの被害が多数ありました。

そして、今回の台風では20日0時頃から停電が発生し、多いときにはほぼ町内全域で停電となりました。長いところでは約4日間にわたり停電が続いたところもありました。

また、現在（10月7日時点）神川大滝公園入り口付近が、がけ崩れにより通行止めです。また、それに伴い大滝の茶屋も休業中となり、再開は未定です。



落司平墓地公園内



神川公園入り口付近

「毎年来るから」と慣れていたつもりの台風でも、進路や風速によって大きく被害の程度は異なります。被害を最小限に抑えるためには、事前の備えが大切です。断水や停電などの場合に備えて準備を行いましょう。

台風が接近してきた場合の準備

まずは…

① 気象情報を確認！

台風の場合、事前にニュースや気象情報で確認することが可能です。台風の進路や威力を確認した後は、災害への備えをもう一度確認しましょう。

家の中においても断水や停電が起こるかもしれない…

② 非常用品の準備をしましょう！

最低限必要な物として準備した方がよいもの

- ・ 飲料水（1人1リットルから2リットル）

- ・ 食料品（電気が使えなくなるかもしれないため、調理せず食べられるものが望ましい）
- ・ 懐中電灯
- ・ 携帯ラジオ
- ・ 常備薬

避難所に行く場合には、前述の物に次の物を追加して、避難所へ移動しましょう。

- ・ 着替え（下着等含む）
- ・ タオル
- など

また、人命が何よりも一番大切です。台風に備えていても、危険が迫ってきた場合は、その場から避難することが大切です。早めの避難を心がけましょう。